出水後の各種調査結果

1. 河口部砂州

「河口砂州の状況]

- 河口部の砂州は、冬期波浪によって発達し、融雪期や梅雨期の洪水によって フラッシュされ、位置を変化させながら伸長と減退を繰り返している。
- 近年は、河道内に後退しており、波浪による護岸の損壊等の被害が生じたため、護岸工を施工した。
- 洪水時には出発水位を上昇させ流下能力を低下させる可能性がある。
- H23.7出水においても、砂州がフラッシュしている。

「今後の対応方針]

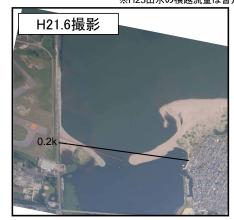
■ 過去に概ね6,000m³/s以上で砂州が一部フラッシュしているが、河口砂州の形状が変化しているため、モニタリングを継続し実態把握を行い、洪水時にフラッシュされるような管理方法を検討する。

阿賀野川河口汀線図 比較図 平成17年 3月(中水) 平成18年 2月(太橙) 平成20年 9月(太黒) 平成23年 8月(太黄)

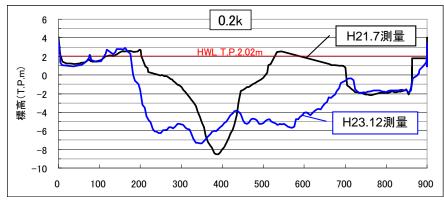
砂州フラッシュの有無

年月日	横越 ピーク流量 (m³/s)	フラッシュ の有無	備 考				
S.44. 8.12	5,921	Δ	No.−3~No.−1の右岸50m				
S.53. 6.27	8,035	0	No.0左岸170m、No.0右岸90m				
S.54. 7.28	3,781	×					
S.56. 6.22	7,310	0	No.0右岸150m				
S.56. 8.23	5,211	×					
S.57. 9.13	5,859	0	No.0左岸20m、No.0右岸100m				
S.63. 7.10	4,483	×					
H. 5. 8.28	5,447	0	No.0左岸25m				
H. 7. 7.17	5,868		No.0左岸100m、No.0右岸100m				
H. 7. 7.22	5,468	0	(個々の洪水での判定不能)				
H. 7. 8. 3	7,535		「個々の無小での刊足个能)				
H.10. 8. 4	4,521	C	No.0左岸30m、No.0右岸80m				
H.10. 9.16	5,065)	(個々の洪水での判定不能)				
H.14. 7.11	5,794	0	No.0左岸50m、No.0右岸110m				
H.14.10. 2	5,317	×					
H.16. 7.13	7,753	0	No.0左岸80m、No.0右岸90m				
H.23. 7.29	10,988	0	No.0.2左岸40m、No.0.2右岸160m				

※H23出水の横越流量は暫定値



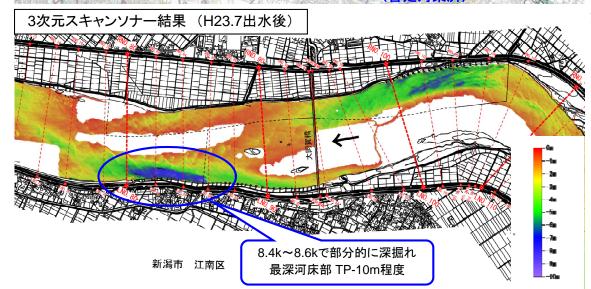




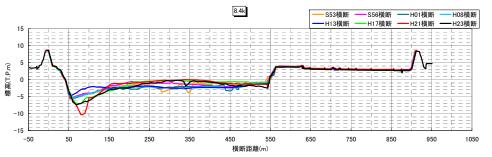
2. 水衝部

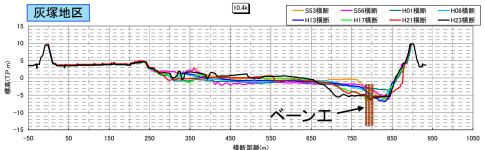
- 灰塚地区、横越地区は水衝部対策が概成しており、近年では河床高が安定
- ■中新田地区は、近年はゆるやかに洗掘が進行しているため暫定対策済み
- H23.7出水では、灰塚地区でベーン工よりも流心側での洗掘、横越地区、中新田地区でも若干の洗掘傾向を確認、引き続きモニタリングを継続
- 灰塚地区については、H23.7出水後に3次元サイドスキャンソナーによる水中部 の測量を実施した結果、8.4k~8.6kで部分的に深掘れしているため注視する

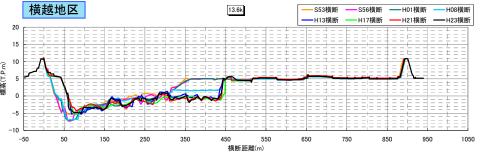


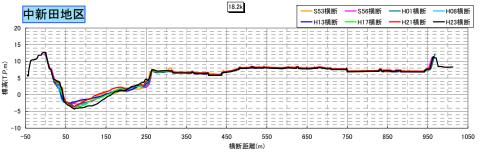


横断の経年変化





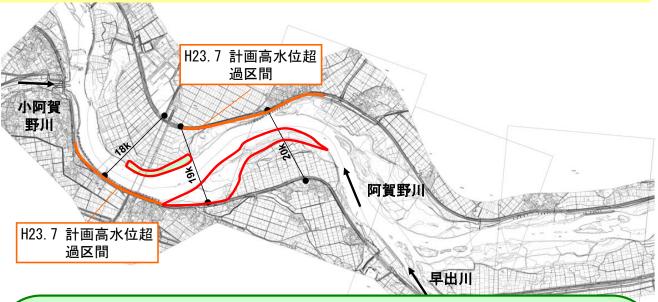


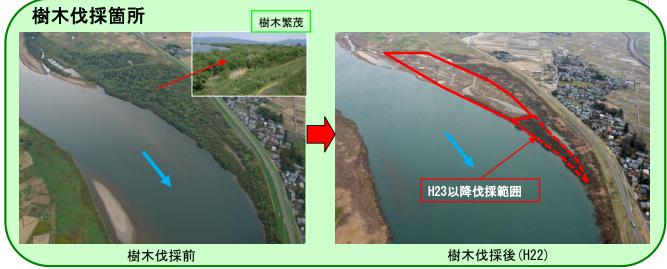


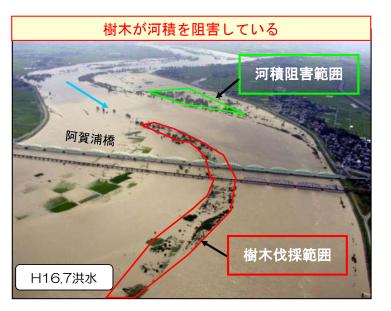
3. 樹木伐採

【中新田地区】

- ■H16.7洪水では流下の阻害になっていたため、H22に樹木を伐採
- ■樹木伐採によりH23.7洪水ではスムーズに流下させることができた
- ■今年度詳細な調査を行い、伐採による効果を検証
- ■今後も洪水の流下に阻害となる樹木を計画的に伐採











4. 伐採後のモニタリング(環境改善効果)

【中新田地区】

- ■樹木伐採により湿潤な環境を創出
- ■湿性植物を多種確認
- ■平成24年7月の調査結果でも湿性植物が確認されており、樹木伐採後の湿性立地が概ね維持されている

			H21伐採箇所			H22伐採箇所		重要種選定基準	
No.	科名	和名	伐採	前	伐採後	伐採前	伐採後	環境省RL	新潟RDB
				\neg	H22結果	H22結果	H23結果	塚児 TILL	利何加加
1	ミズワラビ科	ミズワラビ			•				NT
2	タデ科	ホソバイヌタデ	П		•	•		NT	
3	ユキノシタ科	タコノアシ	十 課		•			VU	VU
4	ミソハギ科	ミズマツバ	☐ [™] 查					VU	VU
5	ゴマノハグサ科	オオアブノメ		. [•		•	VU	VU
6		カワヂシャ			•			NT	NT
7	キク科	タカアザミ			•				NT
8	ミクリ科	ミクリ			•			NT	NT
9	カヤツリグサ科	ヤガミスゲ			•	•			NT
10		カンエンガヤツリ			•			VU	
11		ツルアブラガヤ			•				NT
計	8科	11種			10種	2種	3種	7種	9種

確認された湿性植物



ミズワラビ



ホソバイヌタデ



タコノアシ



カワヂシャ



ミクリ



カンエンガヤツリ